

おみやげ処 お勝手屋「萌」は、平成11年4月、留萌市S L 運行推進協議会がS L ずらん号の運行に合わせてJ R 留萌駅前開設したおみやげ屋「萌」が始まりました。  
当時放送されていたNHK朝の連続テレビ小説「すずらん」の主人公の名前と、留萌の萌が店名の由来です。  
その後、N P O 法人留萌観光協会が運営を受け継ぎ、13年か現在の名称となりました。  
お勝手は台所という意味で、気軽にニーズに応えようという意味が込められています。  
オープン当初からのスタッフで、現在店長を務めている安達

## いつも笑顔でおもてなし お気軽にご来店ください

### マチの情報発信基地として

「留萌を訪れた人が最初に立ち寄る玄関口でありたいと考えていて、留萌の観光名所や飲食店などを詳しく説明することを心掛けています」と安達さん。  
「萌」は昨年4月、栄町3丁目の旧留萌信用金庫駅前支店に移転しました。24年度の来店者数は2万8696人で前年度と比べて44%増加し、好調な利用が続いています。  
安達さんは「来店者の皆さんに『また来たい!』と思っただけのよう、おもてなしの心を大切に、マチの情報発信基地としての役割を果たしていきたいですね」と熱い思いを語ってくれました。



▲来店客でにぎわう店内



▲24年に移転オープンした新しい店舗



おみやげ処 お勝手屋「萌」  
留萌市栄町3丁目  
店長 安達 利子さん

さんは、「カズノコ、ニシン、タコなど留萌管内の物産の魅力を広めていくことに力を入れています」。  
その言葉通り、店内には特産品や留萌市のゆるキャラK A Z U M O ちゃんグッズなど、約300点に及ぶ商品が並んでいます。  
5人のスタッフは観光客や市民の皆さんに気軽に立ち寄ってもらおうと真心を込めた接客に努めています。

## 留萌の魅力、再発見! ノロッコ号で列車の旅

### 目玉は海鮮バーベキュー

ぜひ、家族でご参加ください



JR 北海道留萌駅 留萌市船場町2丁目  
駅長 長能 博明さん

4月27日から始まった大型連休に合わせ、「増毛ノロッコ号」が旭川—増毛間（延長97\*<sub>km</sub>）を特別運行しています。

時速25\*<sub>km</sub>ほどの減速運転で留萌本線を走るノロッコ号の運行は、平成14年から始まり、鉄道ファンにはおなじみです。一般の列車に比べて「ゴットン、ゴットン」と少し揺れますが、昔懐かしいトロッコ様式の旅客列車とあって、家族連れに好評です。今年も子どもたちの夢と笑顔に乗せて走っています。

J R 留萌駅の長能駅長は「ノロッコ号は、春に留萌本線で運行する唯一のイベント列車です。機関車を含めて4両編成のうち2両を自由席の展望車、1両をバーベキュー列車としています。今年4月27～29日と5月3～6日の7日間運行します。ノロッコ号や留萌本線の魅力は、海や海岸線を間近に見られる景色の素晴らしさに尽きます」とPRします。

J R 留萌駅では期間中、留萌市や留萌観光協会の職員、静月会留萌支部の会員が中心となって乗客を歓迎しています。留萌たこめしの販売や、バーベキュー参加者を対象に特産品が当たる抽選会も人気を集めています。

「眺望もさることながら、甘エビやアワビ、ホタテなど留萌の食が満喫できると、変わらぬ人気があるのがバーベキュー専用列車です。列車の旅は自動車や飛行機とは違う魅力があります。留萌—増毛間は、車道よりも高い位置にレールが敷かれている箇所が多いので、いつもと違った風景が見られます。留萌市民もぜひ乗車してください」。新たな体験・感動の旅が待っているでしょう。



▲春の観光シーズンの到来を告げるノロッコ号



▲人気の海鮮バーベキューに舌つづみ